

【アゼルバイジャン経済トピック101号】

在アゼルバイジャン日本大使館

2022 年8月9日

SOCAR 総裁の任命

7 月 21 日付大統領令により、ロブシャン・ナジャフ SOCAR 第一副総裁(総裁代行)がSOCAR総裁に任命されました。(2 月 14 日付経済トピック『SOCAR 幹部の異動』参照)

ご参考までナジャフ総裁の略歴を別添いたします。上記トピックで既報の通り、総裁は JICA 研修プログラム(地域の経済振興)の修了生でもある親日家です。

(以上)

ロブシャン・ナジャフ SOCAR 総裁



(1) 生年月日：1982年4月9生まれ（40歳）

(2) 出生地：バクー市

(3) 学歴：

2001年 バクー国立大学国際経済関係学部卒

2003年 バクー国立大学国際経済関係修士号

2007～2008年 コロンビア大学 経済政策、国際エネルギーマネジメン
ト及びエネルギー政策学修士号（SOCAR奨学金）
経済学PhD取得

(4) 職歴：

2001～2003年 バクー国立大学国際経済関係研究科にてアシスタント教
師

2003～2007年 経済省投資・国際経済協力部投資政策課

2008～2009年 SOCAR投資部投資関連契約課長

2009～2010年 経済省国際経済関係部長兼経済大臣アシスタント

2010～2018年 アゼルバイジャン投資会社副総裁

2018～2019年 大統領府イノバティブ発展及び電子政府部長

2019～2020年 金融モニタリング庁取締役会会長

2020～2021年 経済副大臣

2021～2022年 経済第一副大臣

2021～2022年 SOCAR 第一副総裁兼総裁代理

2022年～（現職） SOCAR 総裁